

Asian Diversity by ASNET No.9

「ひとり5センチ」

アジアの隣人を知る12枚の写真 (中国編:その4)

中国の列車はいつでもどこでも非常に混んでいる。乗車時には多くの乗客が車内になだれ込み、到着すると乗客とともに押し出される(写真)。

以前、列車のなかで、私の前に座った中国人に「なんでこんなに混んでいるのか」と聞いたことがある。すると、そのおじさんは「ひとり5センチだから」と言った。最初、何を言っているのか理解できなかったが、詳しく聞いてみると、中国の線路の総距離を人口で割った値であった。

私自身(皆さんもそうであると思いますが)、線路の総距離を総人口で除したことがなかったのですが、当時、この「5センチ」を聞いたとき、なにか妙に説得力があるような不思議な感じがした。

後日、調べてみると中国の線路は68,000kmあり、人口は130,628万人であった(2005年当時)。計算してみると、まさに線路はひとり5.2センチであった。「私は飲食店の店長だ」というおじさんが、なぜこの値を知っていたのか疑問は深まるばかりである。

ちなみに日本は、計算してみると、ひとりあたり21.7センチである。日本で中国人から「なんで日本の電車は中国に比べ空いているのか」と問われたら「ひとり21センチだから」と答える機会をうかがっているが、いまだにそのチャンスは来ない。



大きな荷物をもった乗客

文・写真: 卯田宗平

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET機構)は、研究者や学生が分野を超えて繋がり、アジアに関係する教育や研究の新たな可能性を探るために設立された東京大学の機構です。

アジアのことを広く、深く知りたい学生の皆さんに研究科等横断型「日本・アジア学」教育プログラムも実施しています。詳しくは下記のURL:

<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

ASNET機構

検索

Relay Column

ワタシのオシゴト / 第65回

Rings around the UT

柏地区共通事務センター 契約係

森山 博樹さん

なんくるないさ〜♪



良い子はマネしないように



世話焼きたGirlとBoys



ペロブリなManMan

前回のこの頁で医科学研究所の林さんから紹介されました、ネクタイをシュレッターにかけた男、森山です。

現在、物性研究所、宇宙線研究所、空間・人工物研究センター、柏地区事務部の計4つの部局の契約を扱っています。数百円の契約から数億円の契約まで各研究室と業者との間に入り折衝を重ねるのが主な仕事です。

他にも各部局からの重要な機密文書の粉碎を行うことも業務の一つで、粉碎時、書類と一緒にネクタイも巻き込まれてしまい、危うく自分もシュレッターにかけられそうになることもありました。

また、先日は経費削減推進の結果、自分で髪を切りすぎてしまい、両サイド・襟足の計3か所がハゲる、というクールビズなこともありましたが、沖縄育ちなので“なんくるないさ〜♪”で今日も励んでいます。
(/^▽^)/♪

得意ワザ: 人の笑顔づくり

自分の性格: シャイな江頭

次回執筆者のご指名: 西山祐司さん

次回執筆者との関係: 旧原子核研究所のときの友人

次回執筆者の紹介: 教えて西山さん、

試作工場ってどんなところ?